就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績I~Ⅳ)

(I)勞働時間									
前年度(令和2年度)									
雇用契約を締結していた全ての 利用者における延べ労働時間	19, 686	時間	雇用契約を締結していた延 ベ利用者数	4, 845	人	利用者の1日の平 均労働時間数	4. 06	時間	
(Ⅱ) 生産活動 会計期間(4月~ 3月)									
会計期间(4月~ 3月) 前々年度(令和元年度)									
生産活動収入から経費 を除いた額	8, 385, 681	円	利用者に支払った賃金 総額	21, 348, 350	門	収支	▲ 12, 962, 669	円	
前年度 (令和2年度) 生産活動収入から経費 を除いた額	7, 389, 134	7,	利用者に支払った賃金総額	22, 921, 792	\ _E	収支	▲ 15, 532, 658		
(Ⅲ)多様な働き方									
前年度(2年度)における実績(全体表「(正)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載)									
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 ②利用者を職員として登用する制度 ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律									
②免許・資格取得、検定の受に関する制度を活用した人数 【就業規則 第42条・第43条 免許・資格等取得の支援を受ける素働き方の一一ズに対応が期待できるの分野の中で認定したものをいう。①運転免許②ビジネス関係の資格③奈の他技能検定・日本のでは、10年ので	及	○職員○うち○うち※登用就業員職務目	 ○職員として登用した人数 1名 ○うち1名は雇用継続期間が6月に達している 2 ○うち1名は前年度末日まで雇用継続している 2 ※登用した日 平成27年 9月 1日 勤務形態:常勤【就業規則 第44条】 就業時間:9時00分 ~ 17時00分 職務内容:業務課長・職業指導員 ⑤短時間勤務に係る労働条件 			②在宅勤務を行った人数 名 ※実施した期間: 月 日~ 月 日 就業時間(在宅動務): 時 分~ 時 分 職務内容: (6)時差出動制度に係る労働条件			
◎フレックスタイム制を活用した人数※実施した期間: 月 日~ 月 日※実施した期間: 月 日				名 月 日 [↑] ~ 時 分	回時を出動制度に除る方物末件 ◎時差出動制度を活用した人数				
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度⑧傷病休暇等の取得に関する事項◎時間単位取得を活用した人数○名○○傷病休暇等を取得した人数2名									
◎時間単位取得を活用した人数 0名 ◎計画的付与制度を活用した人数 3名 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 □ 計画的付与制度 □ 取得した内容: ケガ治療・入院・リハ取得した期間: 6月1日~7月31日 就業時間: 1月9日~11月10日 就業時間: 時 分~時分 職務内容: 【就業規則 第17条~第19条】 【就業規則 第21条】					(※) 当記	亥制度等を活用した(任意の 1 名の実績を記載		
(Ⅳ) 支援力向上									
前年度(2年度)における実績(<u>全体表「(IV)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載</u>)									
対象職員数 うち研修受講者数 ※研修名:サービス管理責任 研修講師:東京都	☑ 回/内部 回 6人 3人	○研修 発表 ※研修 実施 ※学会 掲載	誌等名「障害者の雇用と	こおいて 1回 日 就労」 15日	◎先進的◎他の事※先進目実施目※他の事	《· 実習の実施又 內事業者の視察·実習 事業所の視察·実習 的事業者名 日/参加者数 事業所名 日/参加者数	習の実施している		
主催者名 : 岡山市(本社)	※加回数 3回接施設とバイヤー様とのと連携)月 26日者と商談	○職員○当事○当事月方方該ままり就業	の人事評価制度 の人事評価制度を整備 人事評価制度を周知し 価制度の制定日 価制度の対象職員数 給・昇格を行った者 事評価制度の周知方法 則・賃金規程・職員教育	ている ☑ 令和元年8月8日 1 4名 名 育訓練・昇格規程	◎ピア◎当該	・講している 期間 月 日~ 時間	_		
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去3年以 福祉サービス第三者評価を ※評価を受けた日 第三者評価機関		◎ I S 規格 ※認証	様標準化規格が定めた規 のが制定したマネジメン 等の認証等を受けている を受けた日 月 等の内容	2	(※)実績	責のうち1事例を記載	或		